

# こうつうあんぜん ニュース

# 交通安全 News



令和8年3月発行

山口県は、「信号機のない横断歩道で車が止まらない調査」の全国1位となり、横断歩道に歩行者がいても車が「日本一止まらない県」となりました。車が止まらなかった理由は、「歩行者に気が付かなかった」というものが多くなっています。



今回は、「横断歩道での交通事故防止」について考えてみましょう。

## 横断歩道で待つ場所

## 歩行者用信号機の意味

横断歩道で待つ位置が車道に近すぎると車にぶつかってしまったり、交差点で事故が発生した時に、事故の衝撃で車が歩道に突っ込んで歩行者を巻き込んでしまう可能性があります。歩道のギリギリには立たないようにしましょう。また、信号待ちでは、縁石やガードレールがある安全な位置で待ちましょう。

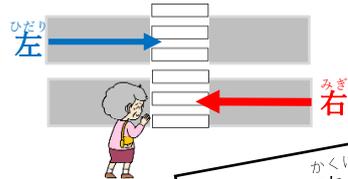
赤色…止まれ  
青色…渡ることができる  
青信号なら絶対安全！ということはありません。青信号でも、自分で左右の安全を確認し、危険なら止まりましょう。



## 横断歩道の渡り方

合言葉は「サイン！ 右よし、左よし、右よし … 左よし」

しっかり右手を挙げて渡る合図をしましょう。右手を挙げる理由は…横断歩道を渡る時、最初に近くを走る車は右から来るからです。



止まってよく確認しよう。他にも、車の来る音がないかなど音も安全確認の一つです。



横断中も安全確認を忘れないようにしましょう。



止まって確認は！？



正しく渡って命を守ろう



ながら横断は危ない！



山口県警察YouTubeに交通安全動画を掲載中！

山口県警察